| 附録| ソフトのインストール方法

[附録A] 「Java SE B」のインストール

[附録 B] 「Spring Tool Suite」のインストール

[附録C] [Lombok] のインストール

[附録D] [curl]のインストール

附録A

[Java SE 8]のインストール

「Java SE Development Kit (JDK) 8」をダウンロードします。

ここでは執筆時点で最新の「Java SE 8u102」を扱いますが、読者の作業時点での最新バージョンを使ってかまいません。

[1] Oracle の「JDK ダウンロード・ページ」(http://www.oracle.com/

technetwork/java/javase/downloads/index.html) にアクセスして、JDK の「Download」ボタンを押してください。



「Download」 ボタンをクリック

[2] 「Accept License Agreement」 にチェックを入れて、実行ファイルをダウンロードします。

ご利用のプラットフォームに合わせてダウンロードファイルを選択してください。

ここでは「MacOS X」 を選択します。

	softwar	 Agreement for Java SE to download this
Accept Lice	nse Agreement	O Decline License Agreement
Product / File Description	File Size	Download
Linux x86	160.35 MB	jdk-8u102-linux-i586.rpm
Linux x86	175.03 MB	Jdk-8u102-linux-i586.tar.gz
Linux x64	158.35 MB	jdk-8a/102-lintex-x64-rpm
Linux x64	173.03 MB	Jok Ru 107 Boxon vRA Jange
Mac OS X	227 35 MB	jdk-8u1G2-macosx-x64.dmg
Solaris SPARC 64-bit	139,59 MB	jole Go102 solaris-sparcyCtan.t
Solaris SPARC 64-bit	98.98 MB	jdk-8u102-solaris-sparcy9,tar.gz
Solaris x64	140.02 MB	jdk-8u102-solaris-x64 tar Z
Solaris x64	96,24 MB	jdk-8u102-solaris-x64 tangz
Windows x86	189.2 MB	jdk-8u102-windows-i586.exe
Windows x64	194.68 MB	idk-8u102-windows-x54.exe

「Accept License Agreement」にチェックを入れて、 実行ファイルをダウンロード

*

以降では「MacOS X」の例で説明します。

[3] ダウンロードした「jdk-8u102-macosx-x64.dmg」 を ダ ブ ル クリックして、「JDK 8 Update 102.pkg」(箱のアイコン) をダ ブルクリックしてください。



「JDK 8 Update 102.pkg」をダブルクリック

[**4**] この先に現われるダイアログに 対しては、「続ける」をクリッ クし続けてください。

0.0.0	■ JDK 8 Update 102 のインストール	1
	ようこそ JDK 8 Update 102 インストーラへ	
· MUME		
※ インストール先		
- インストールの機能		
# インストール		
- MIX		
Java"	Java Development Kitiは、Javaプログラミング言語を使用してアプリケーション、アプレットおよびコンボーネントを作成するための開発職境です。	
ORACLE	製造・製造	

「続ける」 をクリックして インストールを進める

0.00	⊌ JDK 8 Update 102 のインストール	<u></u>
	'Macintosh HD'に簡単インストール	
• ಚಲಕಾಣ	この操作には、コンピュータ上に 533,9 MB の領域が必要です。	
● インストール先	このコンピュータのすべてのユーザが使用できるようにこのソフトウ	
インストールの個別	ェアを簡準インストールするには、"インストール"をクリックしてく ださい。このコンピュータのすべてのユーザがこのソフトウェアを使	
インストール	用できるようになります。	
板套		
2		
(5)		
ر ا		
lava.		
ORACLE		
	戻る インストール	

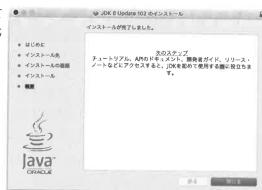
[5] 次に、「インストール」をクリックしてください。

「インストール」をクリック

[6]	OS ユーザーのパスワード入力
	が求められます。パスワードを
	入力して「ソフトウェアをイン
	ストール」をクリックしてくだ
	さい。

0	インストーラが新しいソフトウェアをインストールしようとしていま す。 これを許可するには、パスワードを入力してください。
	ユーザ名: Maki, Toshiaki
	パスワード:

パスワードを入力して「ソフトウェアをインストール」 をクリック



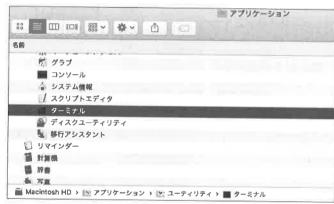
最後に、「閉じる」をクリック

これで JDK のインストールが完了しました。

*

次に、JDKを使うために、環境変数の設定を行ないます。

[1]「アプリケーション」→「ユーティリティ」から「ターミナル」をダブルクリックして起動してください。



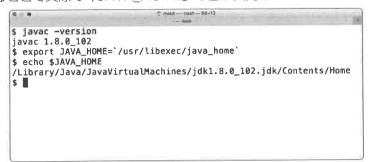
「ターミナル」を起動

[2]「ターミナル」で「javac -version」コマンドを実行して、インストールした Java のバージョンと一致するか確認してください。



Javac のバージョンを確認

[3] 次に「export JAVA_HOME=`/usr/libexec/java_home`」^[1] を実行して、環境変数「JAVA_HOME」を設定してください。「echo \$JAVA_HOME」を実行することで実際の「JAVA HOME」の値が出力されます。



JAVA HOME の設定

以降はこの「ターミナル」を使って作業します。

毎回「JAVA_HOME」を設定しなくてもすむように、以下のコマンドで「(ホームディレクトリ)/.profile」に「JAVA_HOME」の設定をしておくといいでしょう。

\$ echo 'export JAVA_HOME= /usr/libexec/java_home`' >> ~/.profile

附録B

「Spring Tool Suite」のインストール

「Spring Tool Suite」^[2](以降、「STS」と略す)はJavaの統合開発環境である [Eclipse」を「Spring Framework」で開発しやすいようにカスタマイズしたものです。 本書では「STS」を利用してアプリケーションの開発を行ないます。

ここでは執筆時点で最新の「3.8.1RELEASE」を扱いますが、読者の作業時点での最新バージョンを使ってかまいません。

[1] 「STS」の「ダウンロードページ」(http://spring.io/tools/sts/all) にアクセスして、ご利用のプラットフォームに合ったダウンロードリンクをクリックし、ダウンロードします。

ここでは「MacOS X」向けの「ZIP ファイル」(Based on Eclipse4.6)を 選びます。



プラットフォームに合った ダウンロードリンクをクリック

^[1] Windows の場合は環境変数 Java_HOME に「C:\Program Files\Java\jdk1.8.0_xxx」 (xxx はインストールしたバージョン) を設定してください。

^[2] http://spring.io/tools/sts

- [2] ダウンロードした [spring-tool-suite-3.8.1.RELEASE-e4.6-macosx-cocoa-x86_64.zip] を展開します。
- [3] ホームディレクトリにある「sts-bundle/sts.app」をダブルクリックします。



「STS.app」をダブルクリック

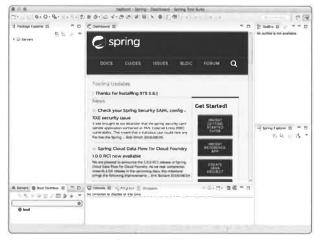
[5] 初回起動時はワークスペースの位置を聞かれます。 「(ホームディレクトリ)/hajiboot」を指定して、「OK」をクリックします。

このとき「Use this as the default and do not ask again」にチェックを入れておいたほうがいいでしょう。



「(ホームディレクトリ) /hajiboot」を指定

[6] 以下のように、「STS」が起動したら、成功です。



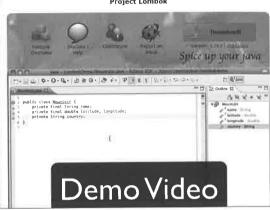
「STS」 が起動した

附録C

「Lombok」のインストール

本書では「バージョン 1.16.8」を扱います。「Lombok」をインストールする前に「STS」は終了しておいてください。

上の「Download!」をシ クします。



「Download!」をクリック

[2] [lombok.jar] をクリックするとダウンロードが始まります。

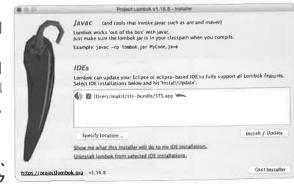


「lombok.jar」をクリック

[**3**] ダウンロードした「lombok.jar」ファイルをダブルクリックすると、インストーラが立ち上がります^[3]。

インストーラが自動的に 「STS」を認識し、「IDEs」 の下に表示します。

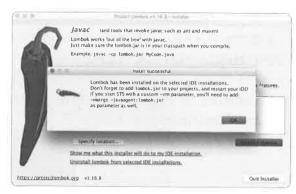
インストール対象の「STS」 にチェックを入れて、「Install /Update」をクリックします。



チェックを入れて、 「install/Update」をクリック

[3] インストーラが起動しない場合は、「ターミナル」でダウンロード・フォルダに移動し、「java-jar lombok.jar」を実行してください。

[4] インストールが完了したら、ダ イアログが現われるので「OK」 をクリックして、インストー ラを終了してください。



「OK」 をクリック

これで「STS」で「Lombok」が使えるようになりました。「Lombok」の効果は公式サイトの「Demo Video」を見ると分かりやすいです。

「STS」を立ち上げた状態で、「Lombok」をインストールした場合は、「Lombok」を有効にするために再起動してください。

附録D

[curl]のインストール

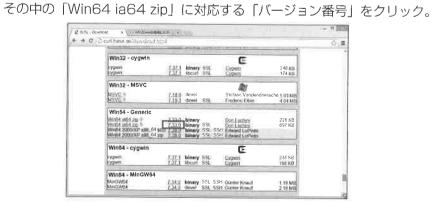
コマンドラインで使える「HTTP クライアント」の「curl」をインストールしましょう。

Mac OS X の場合は初めからインストール済みで、「ターミナル」で「curl」コマンドが利用可能です。

Windows の場合は、インストールが必要です。

ここではバージョン「7.33」を扱いますが、読者の作業時点での最新バージョンを 使ってかまいません。

[1] 「curl」の「ダウンロードページ」(http://curl.haxx.se/download.html) にアクセスし、「Win64 - Generic」[4] までスクロールします。



「Win64 ia64 zip」に対応する「バージョン番号」をクリック

[4] Windows の「32bit OS」を使っている場合は、「Win32 - Generic」のものをダウンロードしてください。

[2] ダウンロードした「curl-7.33.0-win64-ssl-sspi.zip」を「C:」ドライブ 直下に展開します。

「C:\forall C:\forall Curl-7.33.0-win64-ssl-sspi] フォルダが、以下の構成になっていることを確認してください。



「C:\u20accuri-7.33.0-win64-ssl-sspi] フォルダの構成

[3] これまでと同様に、環境変数「PATH」に「curll コマンドのパスを追加します。

PATH
%JAVA_HOME%¥bin;C:\footnote{\text{apache-maven-3.2.1}\footnote{\text{bin;C:}\footnote{\text{curl-7.33.0-}}} win64-ssl-sspi

を設定します。



環境変数「PATH」にパスを追加

[4] 適切にインストールされているか確認しましょう。 「コマンド・プロンプト」を立ち上げて、「curl -V」を実行。

C3.	コマンド プロンプト		-	×
C:YUsersYmaki>curl -V curl 7.33.0 (x86_64-pc-win32) Protocols: dict file ftp ftps Features: AsynchCNS GSS-Nesot	gapher http https imag in	maps pop3 s		

「コマンド・プロンプト」で「curl-V」を実行

インストールしたバージョンが出力されているかを、確認してください。